

# 大分県 豊後高田市

## 豊後高田昭和の町地区

観光・交流

コンパクトシティ

交通利便性向上

経済活性化

健康・医療

子育て支援

防災・減災

その他

### ■ 基本情報

計画期間：H18～H32（第1期～3期）

面積：75.0ha

交付対象事業費：1,446.0百万円(第1期)

1,767.8百万円(第2期)

1,436.0百万円(第3期)

市町村人口（地区人口）：23,270人

(3,006人)

### ■ 地区概要

「人通りよりも犬や猫の方が多い」とまで表現された衰退した商店街を、最も華やかで元気だった昭和30年代をテーマに、そのまちなみを再現し、商業の振興に観光の要素をプラスして活性化を図る『豊後高田昭和の町』づくりを官民一体となって取り組んでいる。

『豊後高田昭和の町』を核として、公園改修、橋の架け替え、新図書館やコミュニティプラザの整備など都市機能を充実させるとともに、高齢者をはじめ市民が健康で楽しく過ごせるまちづくりを行っている。

### ■ 目標

昭和の懐かしさとプラチナの輝きに磨きをかけ、豊後高田市の発展を全力で牽引するまちづくり

- ・観光振興 昭和の町が核となり、市全体の活発な交流を促進する魅力あふれる観光まちづくり
- ・商業活性化 昭和の懐かしさを軸に、さまざまな魅力が広がり・つながる回遊して楽しいまちづくり
- ・定住促進 安心・快適で居心地のよい“まちなか”が人を惹きつけるコンパクトなまちづくり
- ・健康増進 子どもから高齢者まで多様な世代が健康にいきいきと暮らし、共に支え合う健康まちづくり

### ■ 主な事業

基幹事業：【道路】桂橋架け替え事業（537.0百万円）

【公園】中央公園改修事業（313.0百万円）

【暮らし・にぎわい再生事業】図書館整備事業（752.0百万円）

【公園】御玉市民公園整備事業（483.5百万円）

提案事業：【地域創造支援事業】昭和の町夢町三丁目館の昭和の茶の間等再現事業（77.0百万円）

【地域創造支援事業】健康増進拠点施設整備（290.5百万円）



## ■まちづくりの実施効果

### 定量的な効果

#### ●官民一体となったまちづくりを推進し、来街者数が約14倍に！

官民が一体となって、年間を通じた数多くのイベントや昭和30年代のまちなみにマッチする店舗修景事業を継続的に実施するとともに、商店街を結ぶ老朽化が進んだ橋を「渡ってみたい橋」へと架け替え、市中心部の中央公園を改修し、芝生広場や県内最大級のコンビネーション遊具を配置するなど、ハード整備とソフト事業の両面から活性化を図り、来街者数が取組開始時と比較し、約33万人以上増加し、約14倍となった。



#### ●図書館機能の充実により利用者数が約10倍に！

従前の図書館は、十分とはいえない閲覧・読書スペースであったため、混雑時には利用者の制限が見受けられることもあった。このため、新図書館は、市役所・警察署など公共施設が集積した市民がアクセスしやすい場所へ移設し、蔵書や閲覧・学習スペースなど本来の図書館機能の充実に加え、各種市民向け講座や著名人による講演会の開催により、図書館利用者数は、従前と比較し、約7.6万人増加して、約10倍となった。



#### ●高齢者が楽しいまちづくりを推進し、施設利用者が約4倍に！

高齢者が楽しいまちづくりを推進する玉津商店街の金融機関の跡地を活用して、元気な高齢者向けサービス施設「玉津座銀鈴堂」を整備した。郊外で実施していたサービス事業をまちなかに移転し、利用者の利便性が図られたことに加え、当該施設におけるコミュニティカフェの併設や、店主等で結成された地元グループによる恒例行事として定着した「玉津プラチナ市」の定期開催などにより、交流促進が図られたことで、高齢者交流施設の利用者数は、従前と比較し、約7.6千人増加して、約4倍となった。



### 定性的な効果

- ・既存資源の活用や『豊後高田昭和の町』の雰囲気づくりの充実、歩いて楽しい商店街づくりなどの取組により、移住者や若者の創業につながり、空き店舗の解消、まちなみ景観の向上、賑わい創出など、商業活性化に効果があった。
- ・玉津地区では、空き家を活用した玉津コミュニティカフェ「こいこい」がオープンし、高齢者をはじめ多様な世代の憩い・交流の場となるとともに、新聞社による文化・教養教室が開催され、学びの場へと広がっている。



歴史的建造物を改修しパン屋を誘致



文化教室(フラワーアレンジメント)

## ■ 効果を継続させるための今後の取組み等

・観光面においては、これまで培ってきた『豊後高田昭和の町』のさらなるブランド力向上を図るための、拠点となる観光交流センターを商店街中心部に整備するとともに、平成 27 年度には国際的視点から評価される「クールジャパンアワード 2015」を受賞したことで、今後は、これまで想定していなかった外国人観光客の誘致に向け、受入環境を整備し、新たな観光客として獲得することで、商店街活性化につなげていく。

・「定住促進のための魅力的なまちづくり」と「健康なまちづくり」をさらに推進するため、市庁舎跡地には、高齢者をはじめとした市民の誰もが集い、元気に楽しく、遊びながら健康づくりができる公園をコンセプトとした魅力的な健康公園の整備とともに、その隣接地には、郊外にある健康交流センターの機能を移転し、スポーツジムや健康教室、介護予防を含めた市の健康増進事業を行う拠点施設の整備を計画している。

## ■ 地区 PR 欄

商店の約 3 分の 2 のシャッターが下りており、「人通りよりも犬や猫の方が多し」とまで、表現されるようになった中心商店街は、“昭和 30 年代”をテーマに、商業振興に観光という要素を取り入れて、正に官民一体となってまちづくりを行った結果、観光客ゼロの状態から年間約 40 万人もの観光客が訪れる観光地へと成長した。これは、商店主・商工会議所が、衰退する商店街をかつての賑わいを取り戻そうと開始したことが発端であり、民間主導であることが特徴である。

また、玉津地区の高齢者が楽しいまちづくりにおいても、地域住民や商店主、老人クラブ等が一体となって、玉津地区の活性化を目的とした『玉津プラチナプロジェクト』を結成し、毎月 1 回の恒例行事となっている「玉津プラチナ市」を開催するなど、高齢者が楽しく過ごせるまちづくりを進めている。

### ■ 観光客で賑わう『豊後高田昭和の町』商店街



### ■ 店主のおもてなし



### ■ 恒例行事として定着した『玉津プラチナ市』

